

平成27年7～9月期結果(確報)の概要

I 今期の概況

1 今期の個人企業（個人経営の事業所）の業況判断D I

① 今期の業況判断

今期（平成27年7～9月期）の業況判断D Iは (-)61.5 で、前期（平成27年4～6月期）(-60.3)に比べ、1.2ポイントの悪化。

② 来期の見通し

来期（平成27年10～12月期）の業況見通しD Iは (-)57.7 で、今期の業況判断 (-61.5)に比べ、3.8ポイントの改善の見通し。

図1 業況判断D Iの推移 — 調査産業計 —

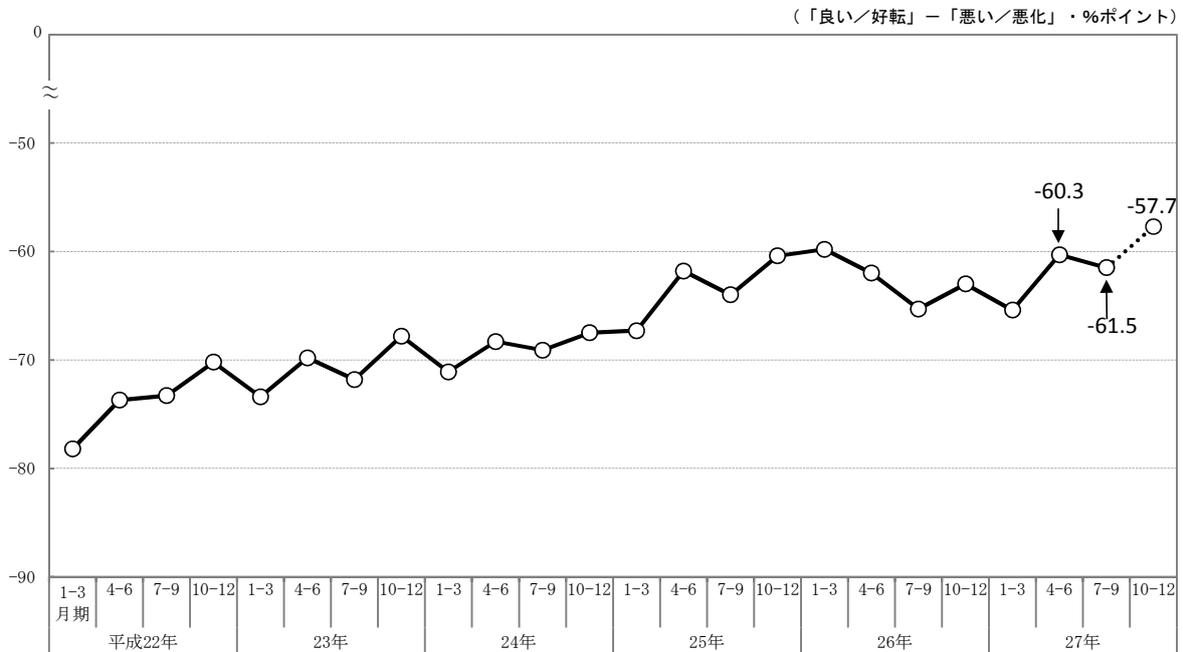


表1 業況判断の割合 — 調査産業計 —

| | 平成26年 | | 27年 | | | |
|------------------|----------------|---------|-------|-------|-------|----------------|
| | 7～9月期 | 10～12月期 | 1～3月期 | 4～6月期 | 7～9月期 | 10～12月期 見通し |
| 今期の業況, 来期の業況 (%) | | | | | | |
| 良い/好転 | 2.9 | 4.0 | 3.1 | 3.5 | 4.0 | 3.1 |
| 普通/不変 | 28.9 | 29.0 | 28.4 | 32.7 | 30.4 | 36.0 |
| 悪い/悪化 | 68.2 | 67.0 | 68.5 | 63.8 | 65.5 | 60.8 |
| D I | -65.3 | -63.0 | -65.4 | -60.3 | -61.5 | -57.7 |
| 参考 | 日銀短観(大企業全産業計) | 13 | 14 | 16 | 19 | 14 |
| | 中小企業景況調査(全産業計) | -28.3 | -28.1 | -29.7 | -24.6 | -24.7 |

(注) 「中小企業景況調査」：(独) 中小企業基盤整備機構作成

(注) 今期の調査票回収時期は、平成27年10月上旬から中旬までである。

2 今期の売上高及び営業利益

| | |
|---------------------|-----------------------------|
| ① 今期の1事業所当たりの売上高は、 | |
| □「製造業」は | 231万円で、前年同期に比べ、0.2%の減少 |
| □「卸売業、小売業」は | 360万9000円で、前年同期に比べ、13.0%の減少 |
| □「宿泊業、飲食サービス業」は | 220万3000円で、前年同期に比べ、1.6%の増加 |
| □「サービス業」は | 121万5000円で、前年同期に比べ、1.2%の減少 |
| ② 今期の1事業所当たりの営業利益は、 | |
| □「製造業」は | 67万5000円で、前年同期に比べ、7.8%の増加 |
| □「卸売業、小売業」は | 36万6000円で、前年同期に比べ、1.1%の減少 |
| □「宿泊業、飲食サービス業」は | 36万8000円で、前年同期に比べ、12.4%の減少 |
| □「サービス業」は | 44万6000円で、前年同期に比べ、3.0%の増加 |

※前年同期(平成26年7～9月期)

表2 産業別売上高及び営業利益

(1事業所当たり)

| | | 製造業 | | 卸売業、小売業 | | 宿泊業、飲食サービス業 | | サービス業 | | | |
|--------------|--------------|---------|---------|---------|-------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 | | |
| 実数 (千円) | 平成25年 | 7～9月期 | 2,119 | 651 | 3,969 | 446 | 2,158 | 433 | 1,274 | 437 | |
| | | 10～12月期 | 2,474 | 676 | 4,376 | 441 | 2,249 | 406 | 1,274 | 448 | |
| | 平成26年 | 1～3月期 | 2,293 | 654 | 4,007 | 463 | 2,018 | 341 | 1,102 | 352 | |
| | | 4～6月期 | 2,131 | 613 | 3,981 | 431 | 2,154 | 402 | 1,210 | 456 | |
| | 平成27年 | 7～9月期 | 2,314 | 626 | 4,146 | 370 | 2,168 | 420 | 1,230 | 433 | |
| | | 10～12月期 | 2,444 | 658 | 4,384 | 511 | 2,150 | 422 | 1,301 | 480 | |
| | 前年同期比 (%) | 平成25年 | 7～9月期 | -9.1 | 6.4 | -5.5 | 3.0 | -0.3 | 22.3 | 8.8 | 5.0 |
| | | | 10～12月期 | -7.8 | -11.6 | -1.2 | 1.4 | 2.7 | 4.1 | -1.3 | -3.2 |
| | 前年同期比 (%) | 平成26年 | 1～3月期 | 9.9 | 16.2 | 1.5 | 25.8 | -1.9 | -11.0 | -10.6 | -17.6 |
| | | | 4～6月期 | -2.4 | -2.7 | 1.2 | 8.3 | 3.2 | -5.2 | -13.9 | -12.6 |
| 前年同期比 (%) | 平成27年 | 7～9月期 | 9.2 | -3.8 | 4.5 | -17.0 | 0.5 | -3.0 | -3.5 | -0.9 | |
| | | 10～12月期 | -1.2 | -2.7 | 0.2 | 15.9 | -4.4 | 3.9 | 2.1 | 7.1 | |
| 前年同期比 (%) | 平成27年 | 1～3月期 | -4.8 | -9.0 | -10.1 | -14.9 | 1.2 | 9.4 | 11.3 | 12.2 | |
| | | 4～6月期 | 15.7 | 9.8 | -6.3 | -0.7 | -0.3 | -9.2 | 9.7 | 2.9 | |
| 前年同期比 (%) | 平成27年 | 7～9月期 | -0.2 | 7.8 | -13.0 | -1.1 | 1.6 | -12.4 | -1.2 | 3.0 | |

3 今期の設備投資額

| | |
|---------------------------------------|--------------------------------|
| ① 今期の1事業所当たりの設備投資額は、 | |
| □「製造業」は | 13万5000円で、前年同期(10万4000円)に比べ、増加 |
| □「卸売業、小売業」は | 8万6000円で、前年同期(8万5000円)に比べ、増加 |
| □「宿泊業、飲食サービス業」は | 15万9000円で、前年同期(7万7000円)に比べ、増加 |
| □「サービス業」は | 5万7000円で、前年同期(4万円)に比べ、増加 |
| ② 今期の1事業所当たりの設備投資率(売上高に対する設備投資額の割合)は、 | |
| □「製造業」は | 5.8%で、前年同期(4.5%)に比べ、1.3ポイントの上昇 |
| □「卸売業、小売業」は | 2.4%で、前年同期(2.1%)に比べ、0.3ポイントの上昇 |
| □「宿泊業、飲食サービス業」は | 7.2%で、前年同期(3.6%)に比べ、3.6ポイントの上昇 |
| □「サービス業」は | 4.7%で、前年同期(3.3%)に比べ、1.4ポイントの上昇 |

※前年同期(平成26年7～9月期)

表3 産業別設備投資額及び設備投資率

(1事業所当たり)

| | | 製造業 | | 卸売業、小売業 | | 宿泊業、飲食サービス業 | | サービス業 | |
|-------|---------|---------------|--------------|---------------|--------------|---------------|--------------|---------------|--------------|
| | | 設備投資額 (千円) | 設備投資率 (%) | 設備投資額 (千円) | 設備投資率 (%) | 設備投資額 (千円) | 設備投資率 (%) | 設備投資額 (千円) | 設備投資率 (%) |
| 平成25年 | 7～9月期 | 139 | 6.6 | 81 | 2.0 | 78 | 3.6 | 45 | 3.5 |
| | 10～12月期 | 122 | 4.9 | 89 | 2.0 | 89 | 4.0 | 44 | 3.5 |
| 平成26年 | 1～3月期 | 116 | 5.1 | 83 | 2.1 | 87 | 4.3 | 73 | 6.6 |
| | 4～6月期 | 85 | 4.0 | 68 | 1.7 | 45 | 2.1 | 75 | 6.2 |
| 平成27年 | 7～9月期 | 104 | 4.5 | 85 | 2.1 | 77 | 3.6 | 40 | 3.3 |
| | 10～12月期 | 78 | 3.2 | 89 | 2.0 | 118 | 5.5 | 43 | 3.3 |
| 平成27年 | 1～3月期 | 111 | 5.1 | 109 | 3.0 | 47 | 2.3 | 37 | 3.0 |
| | 4～6月期 | 148 | 6.0 | 79 | 2.1 | 82 | 3.8 | 47 | 3.5 |
| 平成27年 | 7～9月期 | 135 | 5.8 | 86 | 2.4 | 159 | 7.2 | 57 | 4.7 |

(2) 売上の状況

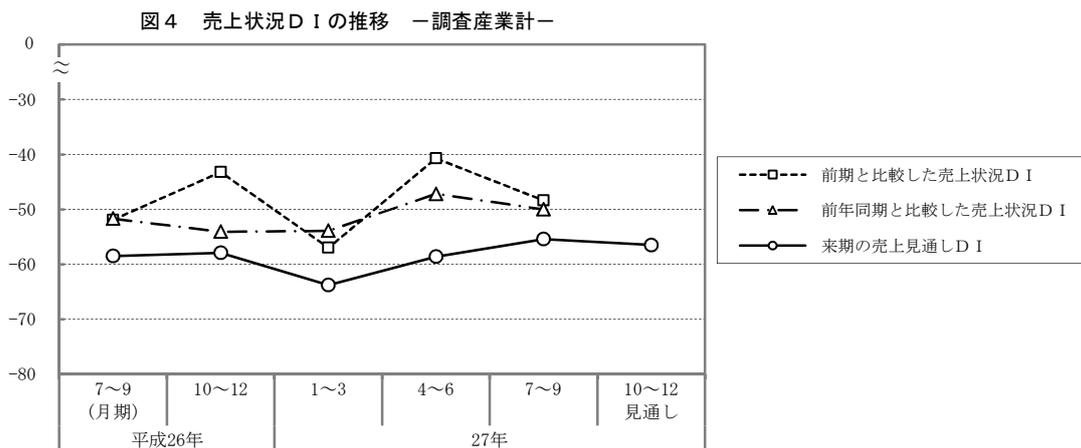
① 今期の売上の状況

ア 前期と比較した売上状況DIは (-)48.4 で、前期 (-40.7) に比べ、7.7 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは (-)50.0 で、前期 (-47.2) に比べ、2.8 ポイント悪化した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは (-)56.5 で、前期における今期の売上見通し (-55.4) に比べ、1.1 ポイントの悪化の見通しとなっている。



(3) 営業利益の状況

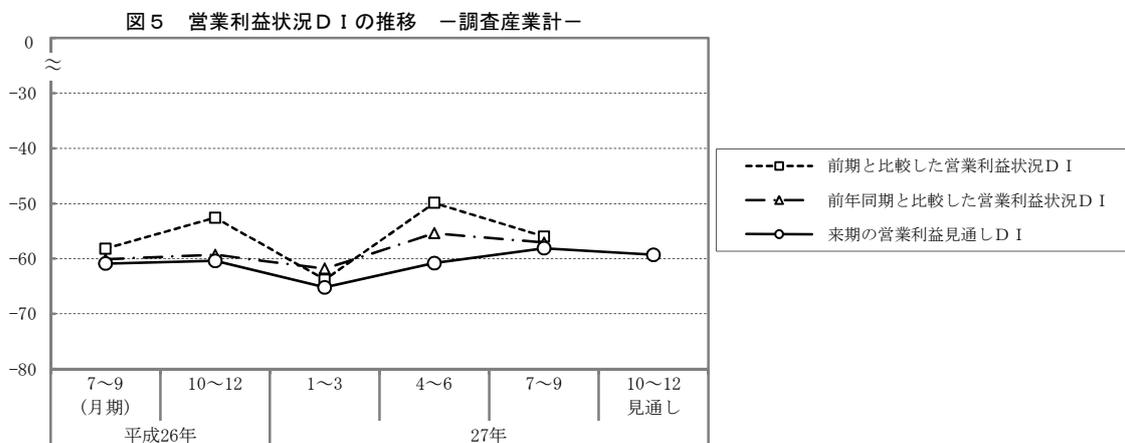
① 今期の営業利益の状況

ア 前期と比較した営業利益状況DIは (-)56.0 で、前期 (-49.9) に比べ、6.1 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは (-)57.1 で、前期 (-55.4) に比べ、1.7 ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

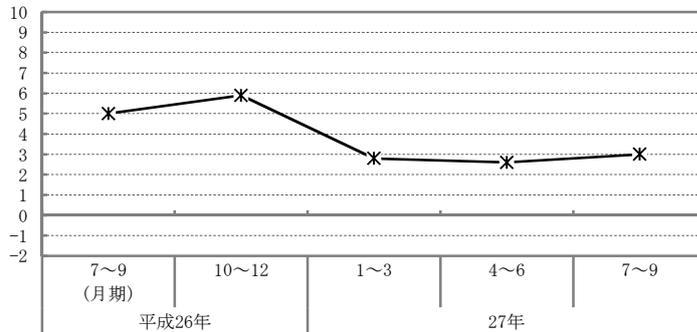
来期の営業利益見通しDIは (-)59.3 で、前期における今期の営業利益見通し (-58.1) に比べ、1.2ポイントの悪化の見通しとなっている。



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)3.0 で、前期 (+2.6) に比べ、0.4ポイント「過剰」が拡大した。

図6 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -調査産業計-

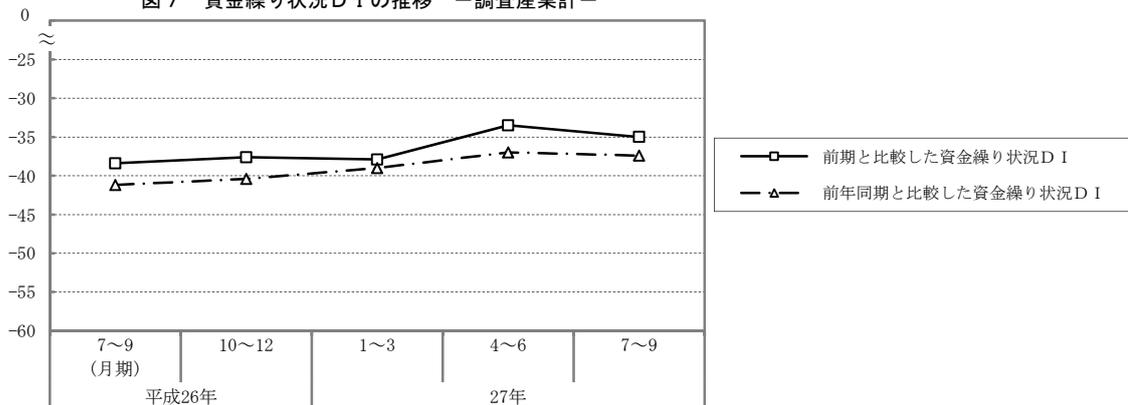


(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)35.0 で、前期 (-33.5) に比べ、1.5ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)37.4 で、前期 (-37.0) に比べ、0.4ポイント悪化した。

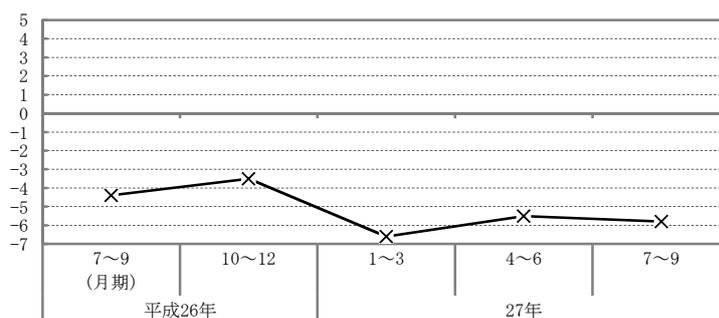
図7 資金繰り状況DIの推移 -調査産業計-



(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)5.8 で、前期 (-5.5) に比べ、0.3ポイント「不足」が拡大した。

図8 雇用状況DIの推移 -調査産業計-



2 製造業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成27年7～9月期）の業況判断DIは（-）49.6で、前期（平成27年4～6月期）（-51.4）に比べ、1.8ポイント改善した。

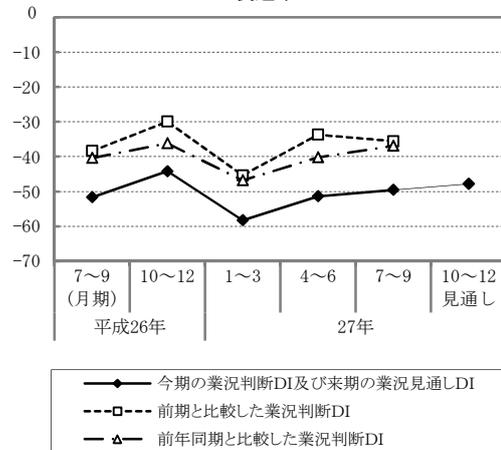
イ 前期と比較した業況判断DIは（-）35.6で、前期（-33.7）に比べ、1.9ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成26年7～9月期）と比較した業況判断DIは（-）36.9で、前期（-40.2）に比べ、3.3ポイント改善した。

② 来期の業況見通し

来期（平成27年10～12月期）の業況見通しDIは（-）47.8で、今期の業況判断（-49.6）に比べ、1.8ポイントの改善の見通しとなっている。

図9 業況判断DIの推移
—製造業—



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

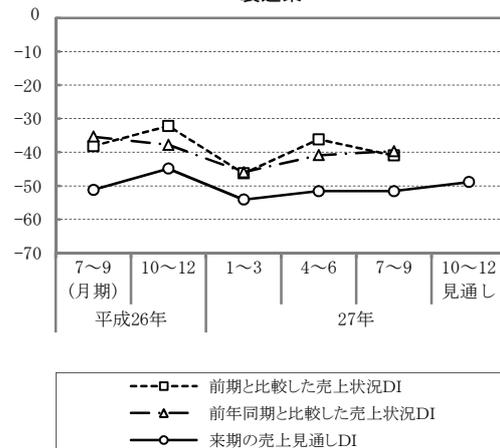
ア 前期と比較した売上状況DIは（-）41.0で、前期（-36.2）に比べ、4.8ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは（-）39.7で、前期（-40.9）に比べ、1.2ポイント改善した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは（-）48.9で、前期における今期の売上見通し（-51.6）に比べ、2.7ポイントの改善の見通しとなっている。

図10 売上状況DIの推移
—製造業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

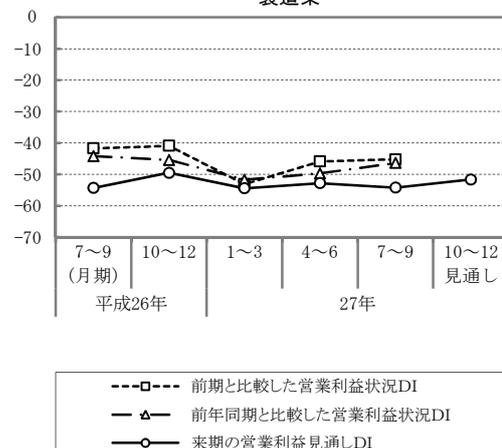
ア 前期と比較した営業利益状況DIは（-）45.2で、前期（-45.9）に比べ、0.7ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは（-）46.4で、前期（-49.7）に比べ、3.3ポイント改善した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは（-）51.6で、前期における今期の営業利益見通し（-54.2）に比べ、2.6ポイントの改善の見通しとなっている。

図11 営業利益状況DIの推移
—製造業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)0.3 で、前期 (+1.3) に比べ、1.0 ポイントト「過剰」が縮小した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)27.4 で、前期 (-29.6) に比べ、2.2 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)29.5 で、前期 (-33.0) に比べ、3.5 ポイント改善した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)8.4 で、前期 (-7.2) に比べ、1.2 ポイント「不足」が拡大した。

図12 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -製造業-

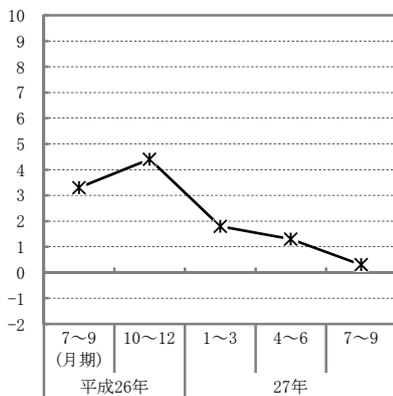


図13 資金繰り状況DIの推移 -製造業-

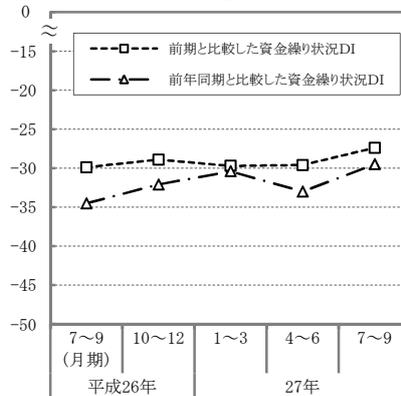
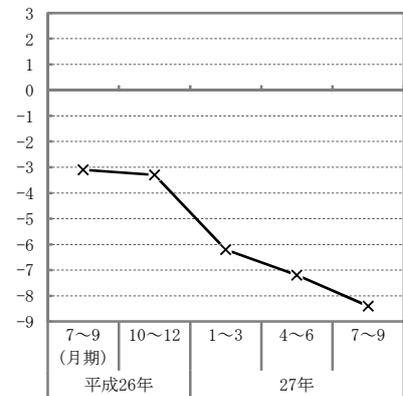


図14 雇用状況DIの推移 -製造業-



3 卸売業, 小売業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期 (平成27年7~9月期) の業況判断DIは (-)64.8 で、前期 (平成27年4~6月期) (-64.2) に比べ、0.6 ポイント悪化した。

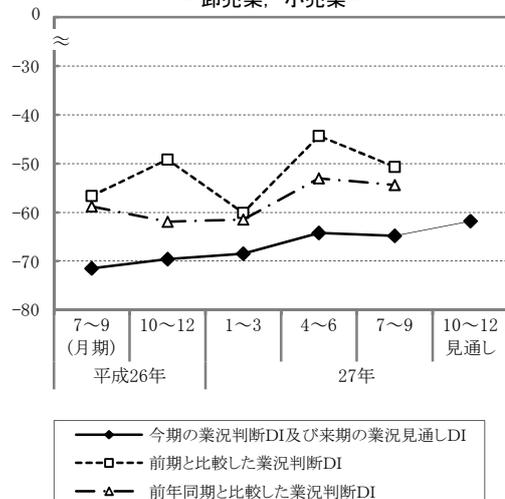
イ 前期と比較した業況判断DIは (-)50.7 で、前期 (-44.3) に比べ、6.4 ポイント悪化した。

ウ 前年同期 (平成26年7~9月期) と比較した業況判断DIは (-)54.4 で、前期 (-53.0) に比べ、1.4 ポイント悪化した。

② 来期の業況見通し

来期 (平成27年10~12月期) の業況見通しDIは (-)61.8 で、今期の業況判断 (-64.8) に比べ、3.0 ポイントの改善の見通しとなっている。

図15 業況判断DIの推移 -卸売業, 小売業-



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

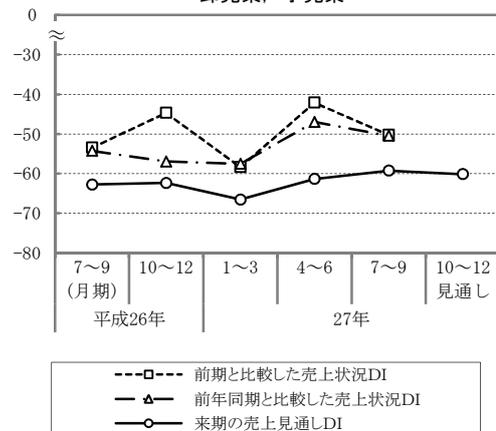
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)50.3で、前期(-42.1)に比べ、8.2ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)50.5で、前期(-47.0)に比べ、3.5ポイント悪化した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)60.2で、前期における今期の売上見通し(-59.3)に比べ、0.9ポイントの悪化の見通しとなっている。

図16 売上状況DIの推移
—卸売業、小売業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

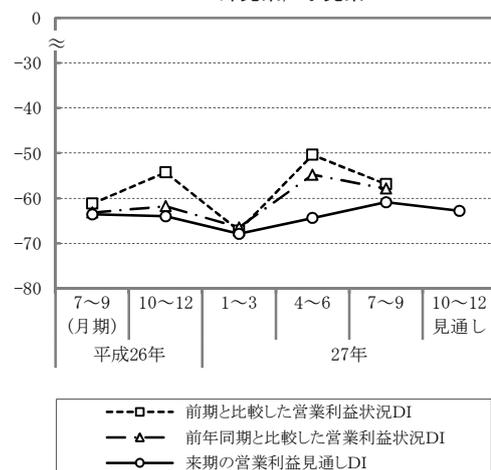
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)56.9で、前期(-50.4)に比べ、6.5ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)57.9で、前期(-54.8)に比べ、3.1ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)62.8で、前期における今期の営業利益見通し(-60.9)に比べ、1.9ポイントの悪化の見通しとなっている。

図17 営業利益状況DIの推移
—卸売業、小売業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+)6.3で、前期(+6.7)に比べ、0.4ポイント「過剰」が縮小した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-)36.0で、前期(-33.9)に比べ、2.1ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-)38.6で、前期(-37.9)に比べ、0.7ポイント悪化した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-)5.6で、前期(-5.0)に比べ、0.6ポイント「不足」が拡大した。

図18 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -卸売業、小売業-

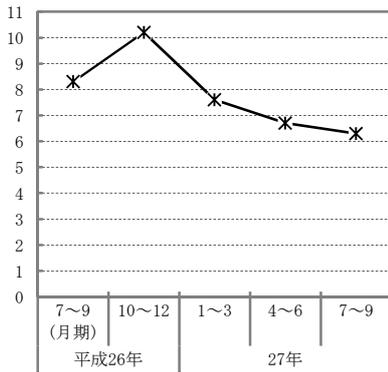


図19 資金繰り状況DIの推移 -卸売業、小売業-

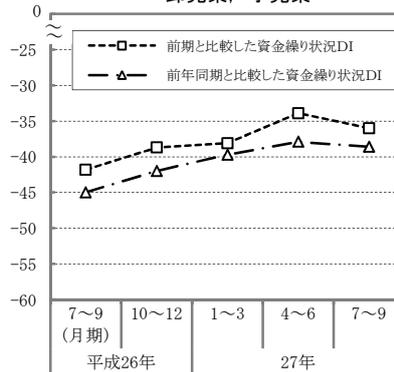
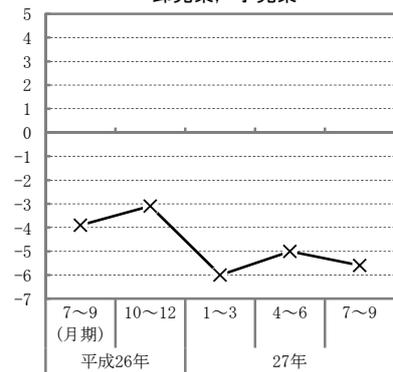


図20 雇用状況DIの推移 -卸売業、小売業-



4 宿泊業、飲食サービス業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成27年7～9月期）の業況判断DIは(-)56.8で、前期（平成27年4～6月期）(-57.8)に比べ、1.0ポイント改善した。

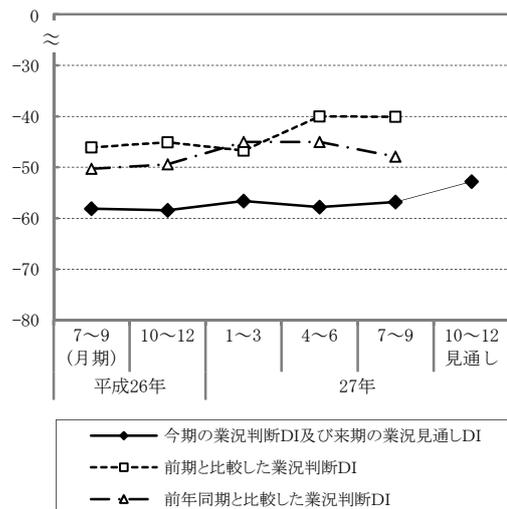
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)40.1で、前期(-40.0)に比べ、0.1ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成26年7～9月期）と比較した業況判断DIは(-)47.9で、前期(-45.0)に比べ、2.9ポイント悪化した。

② 来期の業況見通し

来期（平成27年10～12月期）の業況見通しDIは(-)52.8で、今期の業況判断(-56.8)に比べ、4.0ポイントの改善の見通しとなっている。

図21 業況判断DIの推移 -宿泊業、飲食サービス業-



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

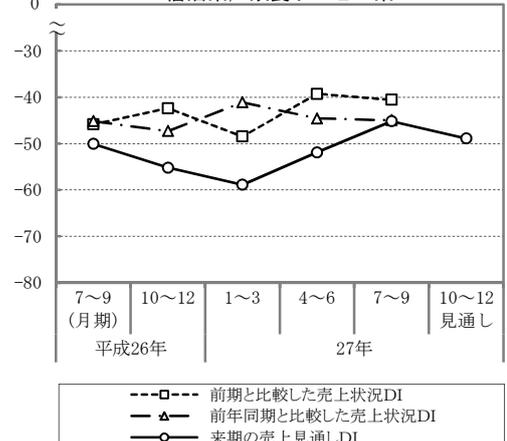
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)40.6で、前期(-39.3)に比べ、1.3ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)45.0で、前期(-44.6)に比べ、0.4ポイント悪化した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)48.9で、前期における今期の売上見通し(-45.2)に比べ、3.7ポイントの悪化の見通しとなっている。

図22 売上状況DIの推移 -宿泊業、飲食サービス業-



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

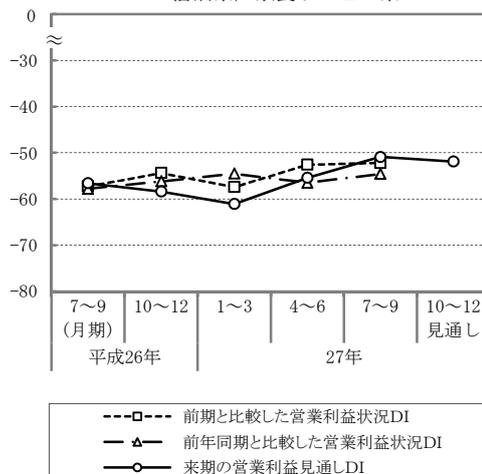
ア 前期と比較した営業利益状況DIは (-)52.2 で、前期 (-52.6) に比べ、0.4ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは (-)54.6 で、前期 (-56.5) に比べ、1.9ポイント改善した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは (-)51.9 で、前期における今期の営業利益見通し (-50.9) に比べ、1.0ポイントの悪化の見通しとなっている。

図23 営業利益状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (-)0.1 で、前期 (-0.9) に比べ、0.8ポイント「不足」が縮小した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)38.9 で、前期 (-36.2) に比べ、2.7ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)43.1 で、前期 (-40.1) に比べ、3.0ポイント悪化した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)8.6 で、前期 (-8.1) に比べ、0.5ポイント「不足」が拡大した。

図24 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—

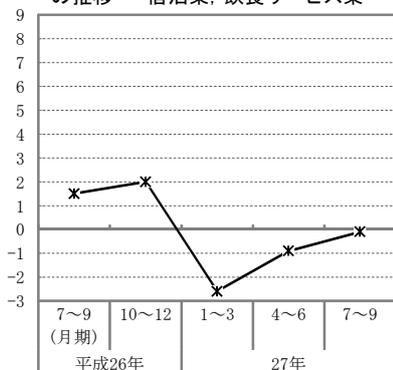


図25 資金繰り状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—

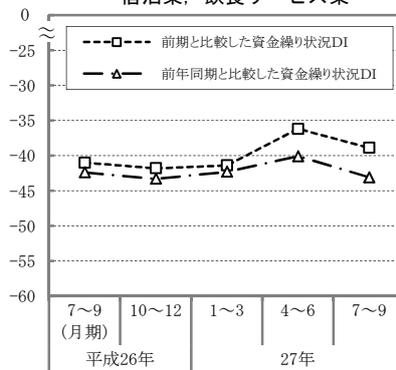
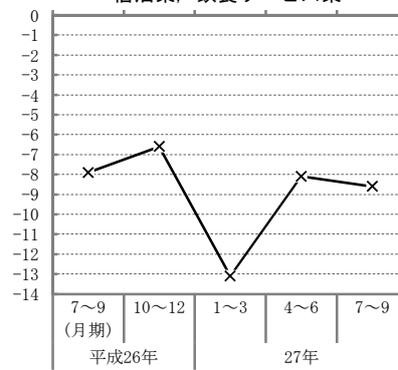


図26 雇用状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—



5 サービス業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成27年7～9月期）の業況判断DIは(-)65.8で、前期（平成27年4～6月期）(-60.7)に比べ、5.1ポイント悪化した。

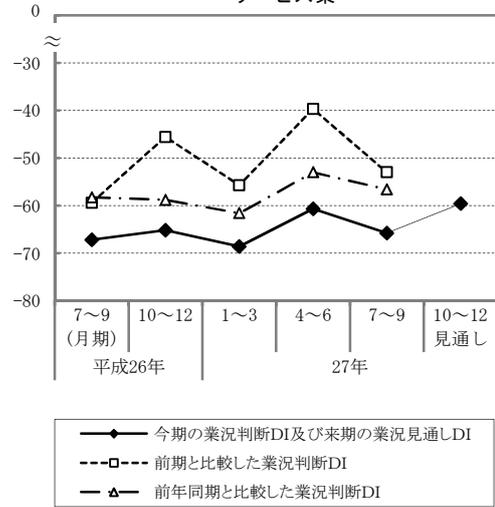
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)53.0で、前期(-39.7)に比べ、13.3ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成26年7～9月期）と比較した業況判断DIは(-)56.6で、前期(-53.0)に比べ、3.6ポイント悪化した。

② 来期の業況見通し

来期（平成27年10～12月期）の業況見通しDIは(-)59.6で、今期の業況判断(-65.8)に比べ、6.2ポイントの改善の見通しとなっている。

図27 業況判断DIの推移
—サービス業—



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

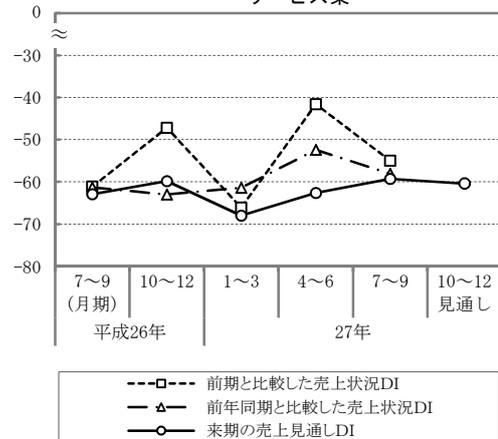
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)55.0で、前期(-41.6)に比べ、13.4ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)58.1で、前期(-52.4)に比べ、5.7ポイント悪化した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)60.4で、前期における今期の売上見通し(-59.3)に比べ、1.1ポイントの悪化の見通しとなっている。

図28 売上状況DIの推移
—サービス業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

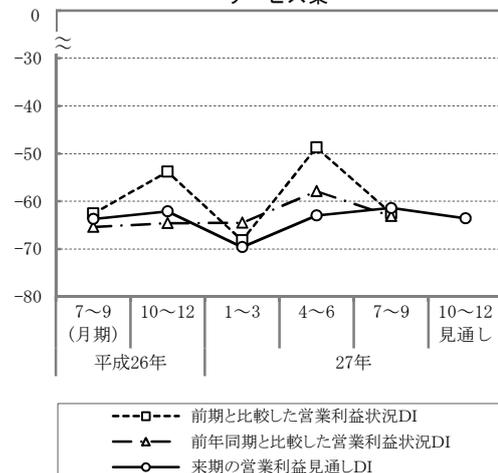
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)62.5で、前期(-48.7)に比べ、13.8ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)63.1で、前期(-57.9)に比べ、5.2ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)63.6で、前期における今期の営業利益見通し(-61.4)に比べ、2.2ポイントの悪化の見通しとなっている。

図29 営業利益状況DIの推移
—サービス業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+) 1.6 で、前期(+ 0.3)に比べ、 1.3 ポイント「過剰」が拡大した。

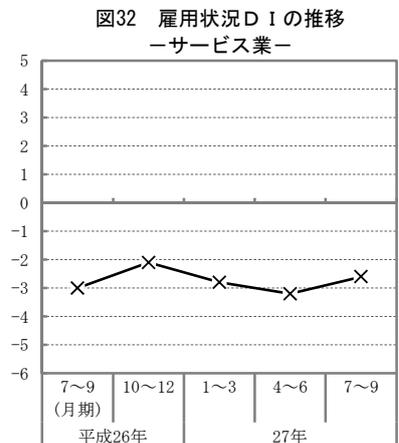
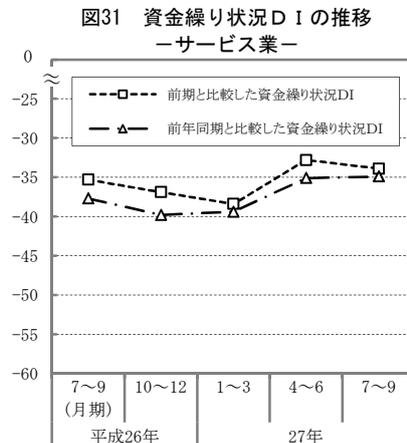
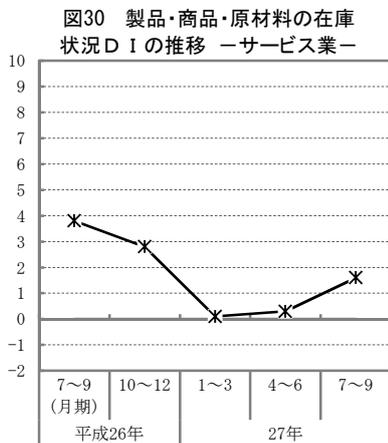
(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-) 33.9 で、前期(- 32.8)に比べ、 1.1 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-) 34.9 で、前期(- 35.1)に比べ、 0.2 ポイント改善した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-) 2.6 で、前期(- 3.2)に比べ、 0.6 ポイント「不足」が縮小した。



Ⅲ 営業収支

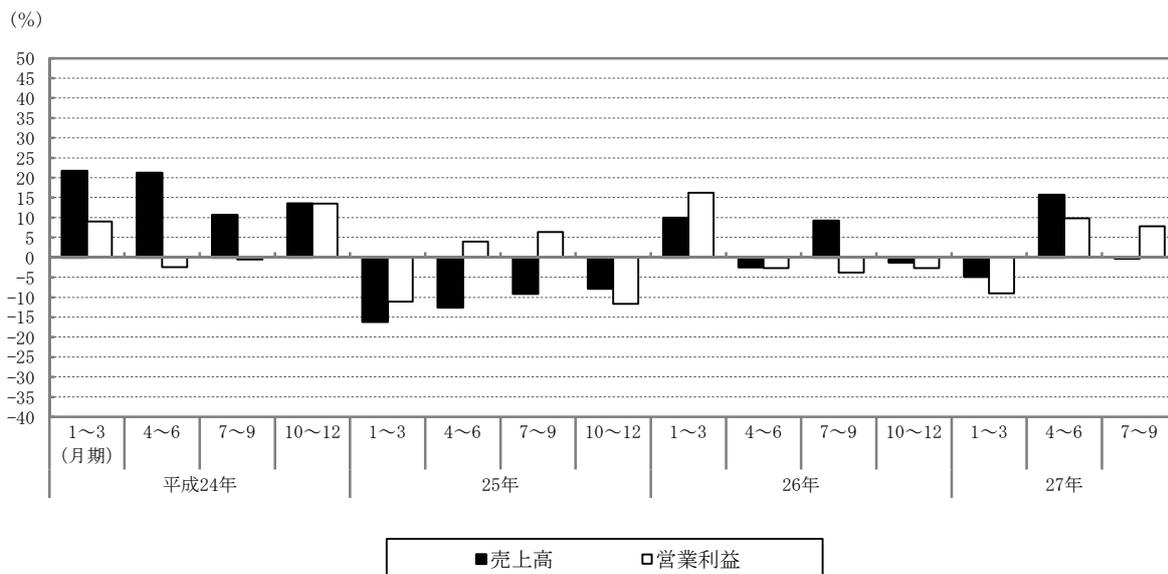
1 製造業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は231万円で、これに対する費用は売上原価が72万8000円、営業費が90万7000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は67万5000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)0.2%で、2期ぶりに減少した。また、営業利益は(+)7.8%で、2期連続で増加した。

図33 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 — 製造業 —

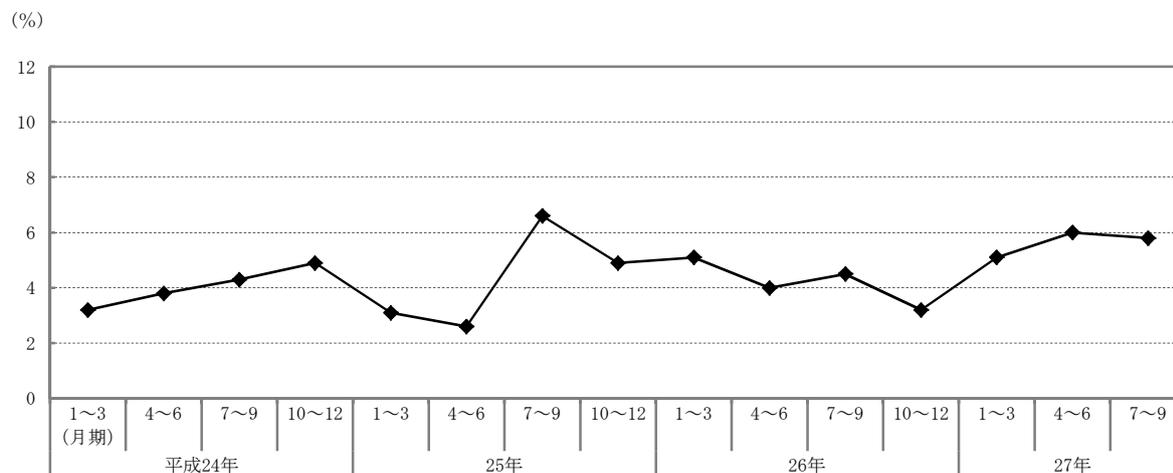


(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は13万5000円で、前年同期(10万4000円)を上回った。

また、設備投資率(売上高に対する設備投資額の割合)は5.8%で、前年同期(4.5%)を1.3ポイント上回った。

図34 設備投資率の推移 — 製造業 —



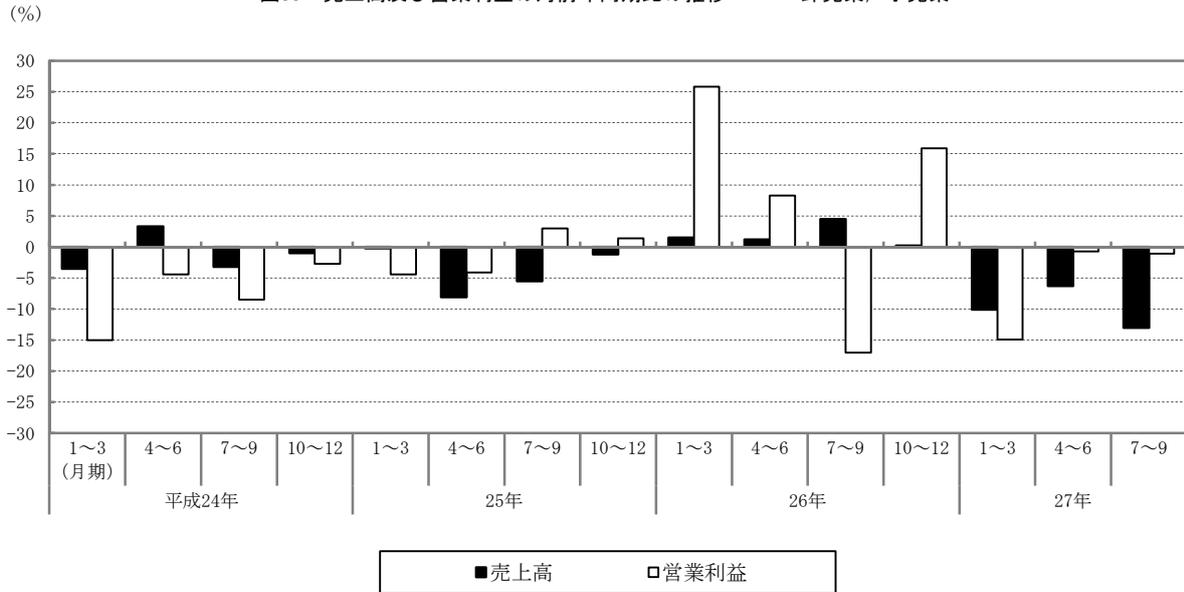
2 卸売業、小売業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は360万9000円で、これに対する費用は売上原価が246万3000円、営業費が78万円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は36万6000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)13.0%で、3期連続で減少した。また、営業利益は(-)1.1%で、3期連続で減少した。

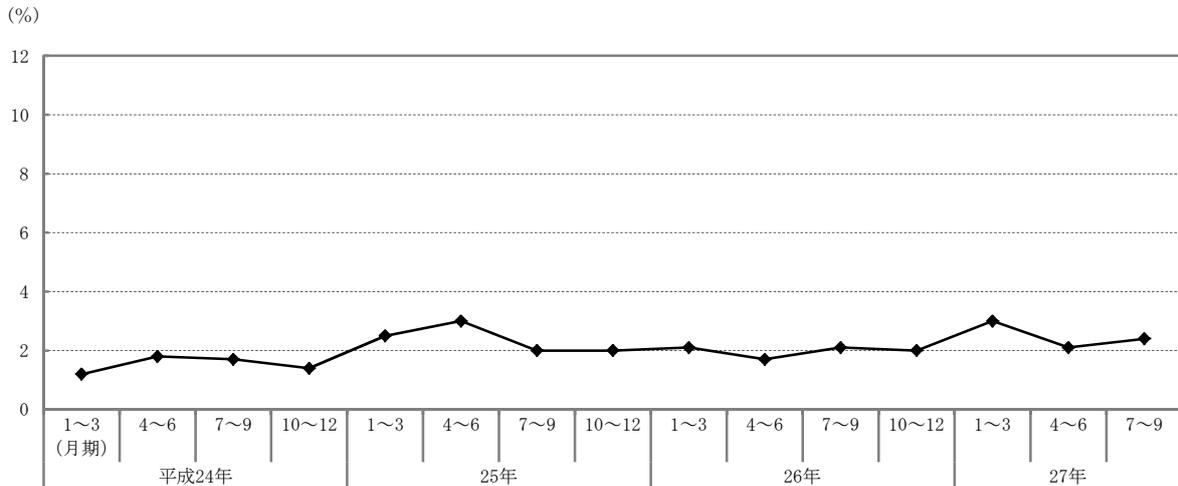
図35 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 ー卸売業、小売業ー



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は8万6000円で、前年同期(8万5000円)を上回った。また、設備投資率は2.4%で、前年同期(2.1%)を0.3ポイント上回った。

図36 設備投資率の推移 ー卸売業、小売業ー



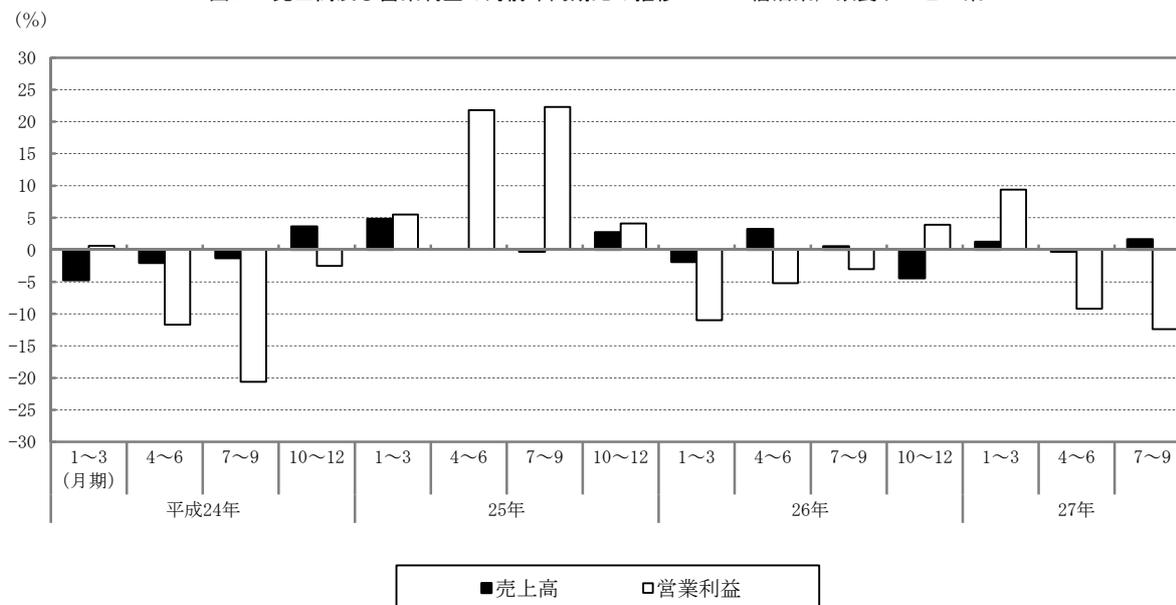
3 宿泊業，飲食サービス業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は220万3000円で、これに対する費用は売上原価が95万7000円、営業費が87万8000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は36万8000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(+) 1.6% で、2期ぶりに増加した。また、営業利益は(-) 12.4% で、2期連続で減少した。

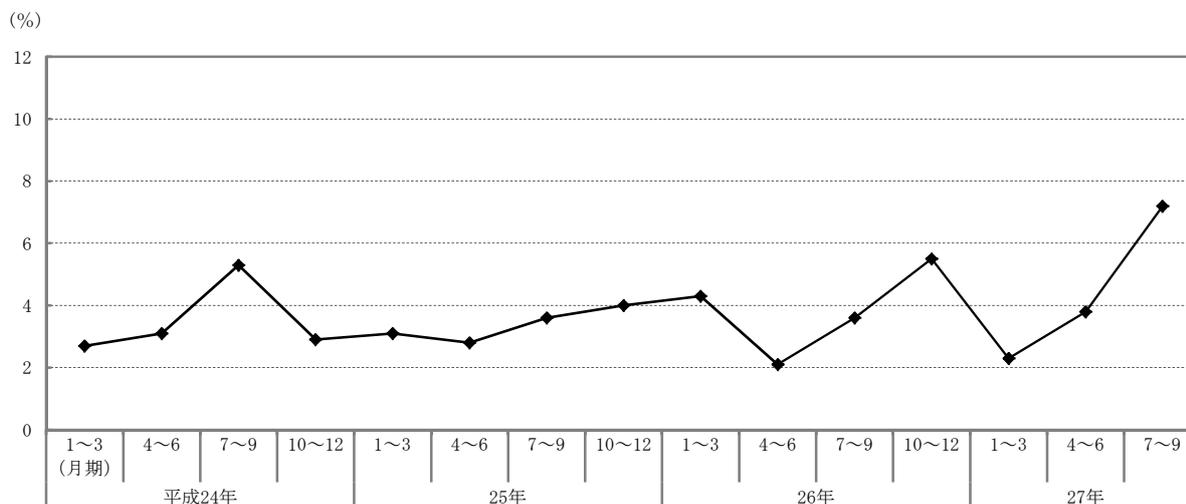
図37 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 ー宿泊業，飲食サービス業ー



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は15万9000円で、前年同期(7万7000円)を上回った。また、設備投資率は 7.2% で、前年同期(3.6%)を3.6ポイント上回った。

図38 設備投資率の推移 ー宿泊業，飲食サービス業ー



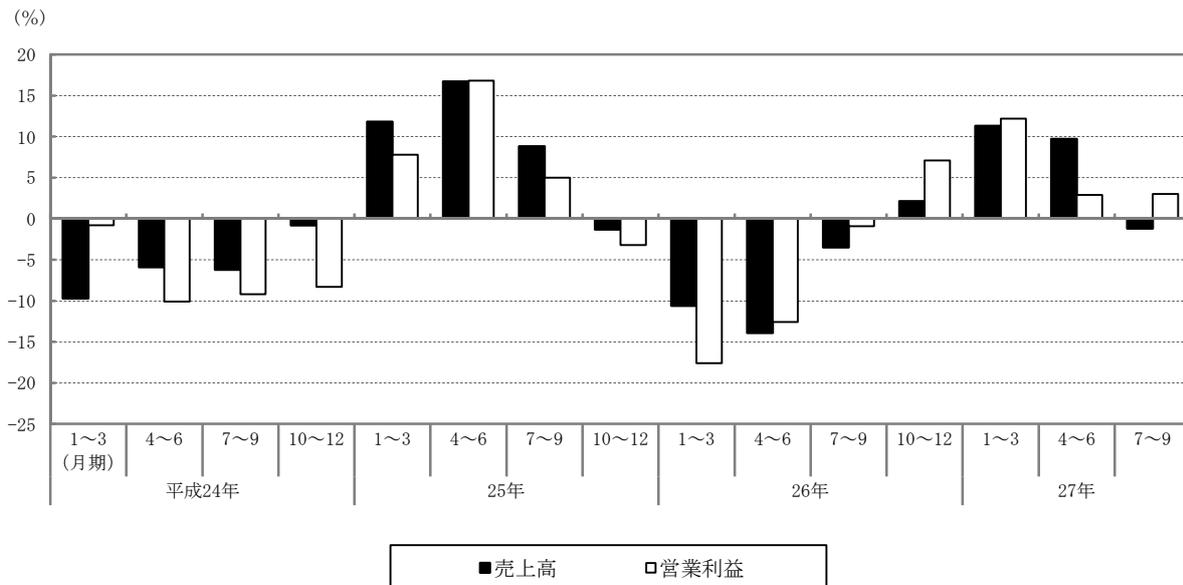
4 サービス業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は121万5000円で、これに対する費用は売上原価が18万2000円、営業費が58万8000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は44万6000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)1.2%で、4期ぶりに減少した。また、営業利益は(+)3.0%で、4期連続で増加した。

図39 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 -サービス業-



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は5万7000円で、前年同期(4万円)を上回った。また、設備投資率は4.7%で、前年同期(3.3%)を1.4ポイント上回った。

図40 設備投資率の推移 -サービス業-

